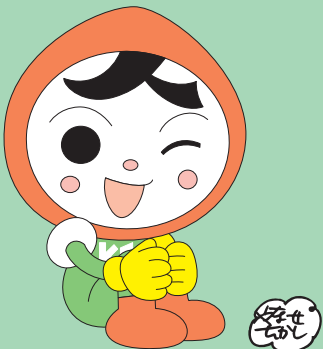




人権イメージキャラクター  
人KEN あゆみちゃん



# 小学生用 人権教室のご案内 (一例)



人権イメージキャラクター  
人KEN まもる君

東京法務局  
東京都人権擁護委員連合会

## は し が き

法務省の人権擁護機関（法務局及び人権擁護委員組織体、以下「当機関」といいます。）では、日頃から、国民の皆様一人一人の人権意識を高め、人権への理解を深めていただくための様々な人権啓発活動を行っています。

このうち、特に小中学校で開催させていただいている「人権教室」につきましては、児童生徒が思いやりの心の大切さを学び、豊かな人権感覚を身に付ける効果が期待されるとして、これまでも多くの小中学校においてワークショップ形式等による参加型・体験型の教室を開催しているところです。また、最近では、特に学校公開日に合わせた「人権教室」の依頼も増えてきている傾向にあります。

当機関では、「人権教室」で取り扱うテーマにつきましても、多様化する様々な人権課題に応じて、いじめ等のこどもの人権課題のほか、高齢者、障害のある人、外国人、性的少数者（LGBT）の人権課題や、インターネット・SNSによる人権侵害など、内容の更なる充実に努めるとともに、今般、「人権教室」で使用する教材の一例を紹介する冊子を御用意させていただきました。

小中学校の関係者の皆様におかれましては、児童生徒に「人を思いやる心の大切さ」、「生命の尊さ」を学ぶ機会として、また、各学校の年間授業カリキュラムにおける総合的な学習の時間、あるいは道徳科の授業等の一環として、当機関が実施する「人権教室」を是非とも積極的かつ計画的に御活用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和2年7月

東京法務局人権擁護部長  
東京都人権擁護委員連合会長

## 人権教室教材目次（小学校用）

### 1 小学校1、2年生向け

番号	内容項目	道徳的価値	テーマ	タイトル	時間	掲載ページ
1	A-4	個性の伸長	偏見、差別的取扱い	さっちゃんのまほうのて	45分	2
2	C-1 1	規則の尊重	人権一般	きまりのないくに	45分	4
3	B-6	親切、思いやり	いじめ	ねずみくんのきもち	45分	6
4	B-6	親切、思いやり	いじめ	ずっとともだちでいたいから	45分	8

### 2 小学校3、4年生向け

番号	内容項目	道徳的価値	テーマ	タイトル	時間	掲載ページ
1	B-9	友情、信頼	いじめ	プレゼント	45分	10
2	B-6	親切、思いやり	いじめ	勇気のお守り	45分	12
3	B-6	親切、思いやり	人権一般	ひとつのことば	45分	14
4	A-4	個性の伸長	偏見、差別的取扱い	名前…それは燃えるいのち	45分	16
5	B-6	親切、思いやり	人権一般	人権かるた	45分	18

### 3 小学校5、6年生向け

番号	内容項目	道徳的価値	テーマ	タイトル	時間	掲載ページ
1	C-1 8	国際理解、国際貢献	外国人差別・偏見	外国人と人権 ～違いを認め、共に生きる～	45分	20
2	B-7	思いやり、感謝	障害のある人	障害って何だろう？	45分	22
3	B-1 1	相互理解、寛容	性的指向・性自認	はじめて学ぶLGBTs② 好きになってはいけないの？	45分	24
4	A-3	節度、節制	インターネット	スマホ・ケータイ安全教室と連携した 人権教室	45分	26

※本パンフレットの内容はあくまで一例です。

また、お申込み方法の詳細は、本パンフレットの28ページに掲載しています。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

〈お問合せ先〉東京法務局人権擁護部第三課 TEL 03-5363-3065

番号	1050202006	対象年齢層 (学年)	小学校 1、2 年生
カテゴリ 1 (大分類)	障害のある人	カテゴリ 2 (小分類)	偏見、差別的取扱い
タイトル	さっちゃんのまほうのて	難易度	中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型 (または、椅子なし型)		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の個性を理解し、互いに尊重する心を育てる</li> <li>・障害者に対する偏見をもたず、他者を思いやる心を育てる</li> <li>・いじめのない学級・学校の実現に努めようとする態度を養う</li> </ul>		
教材の 内容	<p>さっちゃんは、先天性四肢欠損という障がいを負って生まれ、右手には指がありません。幼稚園のおままごと遊びでお母さん役を取り合ったとき、自分の右手についてお友達にひどいことを言われ、取っ組み合いの喧嘩になってしまいます。みんなと違うことに傷つき、幼稚園に行けなくなってしまうさっちゃんですが、無事に立ち直ることはできるのでしょうか。</p> <p>障がいを負った心の葛藤を描き、お母さんやお父さん、幼稚園の先生やお友達など、様々な人々との交流をとおして、さっちゃんが力強く歩き始めるまでの心温まるお話です。</p>		
備考	<p>使用教材：絵本「さっちゃんのまほうのて」、ワークシート 使用物品：SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 始まりの挨拶</li> <li>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</li> <li>(3) 「人権」について簡単なお話</li> <li>(4) 本日のテーマ (障害・差別等) について</li> </ol>	
展開	10分	絵本読み聞かせ	<p>絵本「さっちゃんのまほうのて」を読み聞かせする。</p> <p>※「朗読」としているが、印刷したものを配付したりするなど、こどもたちに関心を持たれるように見やすくする工夫をする。 (または、生徒たちに役割演技をさせ、それぞれの気持ちを考えさせる。)</p>	
	20分	内容の振り返り	<p>登場人物の気持ちなどを考えさせるために、ワークシートを使用する等で下記のような発問をする。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さっちゃんが「みんな だいきらい!」と心の中で叫んで駆け出したとき、さっちゃんは、どのような気持ちだったでしょう。</li> <li>・お母さんがさっちゃんの手を両手で優しく包んで話しをしたとき、お母さんはどのような気持ちだったでしょう。</li> <li>・幼稚園を休んでいるときのさっちゃんは、どのような気持ちだったでしょう。</li> <li>・(絵本の内容とは離れて) 今までに、友達に言われて「嫌だな」と思った言葉や出来事はありましたか?</li> <li>・(絵本の内容とは離れて) 今までに言われて嬉しかった言葉を発表しましょう。</li> </ul>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論</li> <li>・自分や他人の個性を理解し、互いに尊重し合うことの大切さ</li> <li>・人を傷つけるような発言などのいじめをしない、許さない学級づくり</li> <li>◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介</li> </ul>	

番号	1030102110	対象年齢層 (学年)	小学校1、2年生
カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	こども一般
タイトル	しまりのないくに	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型、島型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ「しまり」が必要なのかを考える機会とする</li> <li>・他者との生活において、しまりを守ることの大切さを認識する</li> </ul>		
教材の 内容	<p>わがままで、楽しいことばかりをしていたキリコ。他人を困らせたり、友だちのことは無視。しまりなんてどうでもいいと、やりたいことばかりをやっていました。</p> <p>ある日、ネコの案内で「しまりのないくに」に来てしまったキリコ。そこは、皆が好きなことをできるくに。でも、キリコは好きなことを思う存分やれる反面、ひとりぼっちになってしまい、寂しくて悲しくてたまりません。友だちの大切さやしまりを守ることの大切さ、一人がわがママを言うと周りが困ることを知ったキリコ。</p> <p>自分のわがママを反省し、しまりを守り、友だちを思いやり仲良く暮らした方が今までよりもずっと楽しいことに気づくのです。</p>		
備考	使用教材：DVD「しまりのないくに」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (または、プロジェクター及びスクリーン)、SOSミニレター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> </ul>	はじめに (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ (しまり) について	
展開	15分	人権啓発DVD鑑賞	DVD「しまりのないくに」を上映する。 ※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。	
	5分	内容の振り返り① (意見交換)	グループに分かれ、登場人物の行動などに対しての自分の意見や考えを交換し、思考を深めさせる。 〈話し合い例〉 ・なぜしまりが必要か ・しまりがなかったらどうなるか	
	5分	内容の振り返り② (記入)	ワークシートを配布し、DVDを観て感じたこと、グループで話し合ったことなどの感想を自由に記入させる。	
	10分	発表	ワークシートに記入したことを何名かの生徒に発表してもらう。	
まとめ	5分	本日のまとめ	◆ 本日の内容の総論 ・しまりを守ることは、相手を思いやることにつながる ・しまりを守ることは、自分だけでなく他者の人権を守ることでもある ◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介	

番号	1030202099	対象年齢層 (学年)	小学校1、2年生
カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	ねずみくんのきもち	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	一人一人が違っていてもみんなが良さを持っていること、相手を思いやる気持ちが何より大切だということ、思いやりの気持ちが相手の気持ちを変えることができるということを認識する。		
教材の内容	<p>小さくて臆病で失敗ばかりのねずみくん。今日もねこくんにいじわるされてめそめそしているねずみくんにふくろうさんが教えてくれたこと。それは、誰もが持っていなければならない一番大切なこと。お互いに「思いやる」ことが大切だと教えてもらったねずみくんは、みんなが助け合って生きていること、体は小さくても心は大きくなれること、一人一人が素晴らしいことに気付いていきます。「僕は僕で良かった!」と喜ぶねずみくんは、もう今までのねずみくんではありませんでした。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「ねずみくんのきもち」          使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー          (または、プロジェクター及びスクリーン)、SOSミニレター、          黒板(ホワイトボード)、質問カード</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権擁護委員について</li> <li>人権について</li> <li>本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>始まりの挨拶</li> <li>人権擁護委員及び活動の紹介</li> <li>「人権」について簡単なお話</li> <li>本日のテーマ(いじめ)について</li> </ol>	
展開	12分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「ねずみくんのきもち」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。          プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	25分	内容の振り返り	<p>登場人物の気持ちを考えさせるため、下記のような発問をし、何名かの生徒に発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめられているねずみくんはどんな気持ちだったと思いますか。 →ふくろうさんの言葉の意味を考える。</li> <li>ふくろうさんが言ったねこくんが忘れて「一番大切なもの」は何だと言いましたか。 →ふくろうさんが言った大切なもの4つに気づかせる。</li> <li>①相手のことを大切に思う心、思いやりが大切なこと</li> <li>②みんな助け合って生きていること</li> <li>③みんな違うからいいんだということ</li> <li>④みんな本当は、素晴らしいところを持っているということ</li> <li>(絵本の内容とは離れて) みなさんは、友だちに親切にしてもらってうれしかったことはありますか。</li> </ul>	
まとめ	3分	本日のまとめ	<p>◆ 本日の内容の総論</p> <p>みんなが幸せに生活するためには、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の立場に立って考える思いやりの心が大切であること</li> <li>一人一人必ず素晴らしいところを持っているということを知ること</li> <li>違いを認め合い、お互いを尊重する意識をもつこと</li> </ul> <p>◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介</p>	

番号	1030202018	対象年齢層 (学年)	小学校1、2年生
カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	ずっとともだちでいたいから	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の心や体を傷つけることはしてはならないことであることを理解する</li> <li>・相手の気持ちになって「思いやりの心」を持つことが必要であることに気づく</li> </ul>		
教材の 内容	<p>三羽のカラスは、スズメと遊ぶ仲間のカラスがうらやましいのですが、それをうまく伝えることができず、スズメを「ちいさい=弱いもの」として、理由なくからかったり、いじめたりします。スズメは無垢な心でともだち関係を築いているのに、理由のないいじめに悩み傷つきます。</p> <p>しかし、「ずっと、ともだちでいたい」という思いから、フクロウ先生の励ましもあって、自分の気持ちをはっきりと伝えます。</p> <p>また、三羽のカラスは、たとえいじめの認識がなく遊びの延長であったとしても、他者の心や体を傷つけることは「絶対にしてはならないこと」であり、相手の気持ちになって思いやりの心を持つことが必要であることに気づきます。</p>		
備考	<p>使用教材：紙芝居「ずっとともだちでいたいから」</p> <p>使用物品：SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 始まりの挨拶</li> <li>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</li> <li>(3) 「人権」について簡単なお話</li> <li>(4) 本日のテーマについて</li> </ol>	
展開	10分	紙芝居実演① (前半)	紙芝居「ずっとともだちでいたいから」前半を実演する。	
	5分	内容の振り返り① (前半)	<p>他者の心や体を傷つけることはいじめであり、いけないことであることを理解させるために、グループに分かれ、登場人物の行動などに対する自分の気持ちをについて話し合う。</p> <p>〈話し合い例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までのお話の中で、悲しい、怖いという気持ちになった場面はありましたか？</li> <li>また、それはどの場面ですか？</li> <li>・軽い気持ちや遊びであれば、友だちにいじわるしてもいいのでしょうか？</li> </ul>	
	10分	紙芝居実演② (後半)	紙芝居「ずっとともだちでいたいから」後半を実演する。	
	10分	内容の振り返り② (後半)	<p>「思いやりの心」を持つことの必要性を気づかせるために、グループに分かれ、登場人物の行動などに対する自分の気持ちをについて話し合う。</p> <p>〈話し合い例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲直りしたとき、カラスはどんな気持ちだったのでしょうか？</li> <li>・なぜカラスたちはカータンの家を一緒に作り直そうとしたのでしょうか？</li> <li>・困ったことがあったとき、皆さんだったらどうしますか？</li> </ul>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論</li> <li>みんなと仲良くするために、お互い思いやりの心を持つことが重要であり、それを行動で表すことの大切さを伝える。</li> <li>◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介</li> </ul>	

番号	1030103004	対象年齢層 (学年)	小学校3、4年生
カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	プレゼント	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型 (または、椅子なし型)		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ」という行為を例に、登場人物それぞれの気持ちを考えることを通して、他人への思いやりやいたわりの心といった人権尊重意識を養う</li> <li>・正しい行動をとることの難しさや大切さに気づき、人間の弱さを克服しようとする態度を育む</li> </ul>		
教材の 内容	<p>小学4年生の綾香は美由紀への誕生日プレゼントをきっかけに、美由紀たちからいじめられるようになる。</p> <p>美由紀にいじめられるようになってから、それまで仲の良かった茜や恵まで綾香を避けるようになり、やがてクラス中から仲間はずれにされるようになった。</p> <p>ただひとり、同じようにクラスで仲間はずれにされている麻里だけは綾香をかばったが、ある出来事がきっかけで、綾香は学校を休んでしまう。</p> <p>そんな矢先、美由紀が誕生日に父親からプレゼントされたこ犬のコロがいなくなってしまう。</p> <p>美由紀にいじめられた綾香は、コロを探すことを悩むが、いじめをいじめで返したらいじめはなくならないと思い、コロを探すことに決める。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「プレゼント」、ワークシート</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、 黒板(ホワイトボード)、質問カード、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマ(いじめ)について、話の概要</p>	
展開	15分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「プレゼント」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいらないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	20分	内容の振り返り	<p>登場人物の気持ちや行動を考えるために、下記のような発問をし、いじめをなくすにはどうすればよいか考えさせる。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・綾香さんはなぜ美由紀さんに仲間外れにされたのでしょうか?</li> <li>・仲間外れはいじめでしょうか?</li> <li>・もしみなさんが綾香さんだとしたらどんな気持ちでしょうか?</li> <li>・綾香さんのところに行った麻里さんの心の中はどんな気持ちだったのでしょうか?</li> <li>・コロがいなくなった美由紀さんの心の中はどんな気持ちだったのかな?</li> <li>・仲間外れにされていたのになぜ一緒に探し始めたのでしょうか?</li> <li>・みんなで協力してコロを一生懸命探しました。コロが見つかった時のみんなの気持ちはどうだったのでしょうか?</li> <li>・綾香さんに「ごめんなさい」と謝った時の美由紀さんはどんな気持ちだったのでしょうか?</li> </ul> <p>※板書作業を並行して行う。</p>	
まとめ	3分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論 (本日考えたことを踏まえて)</li> <li>・いじめのない学校やクラスにするには</li> <li>・やさしさや思いやりの気持ちについて</li> <li>・もしいじめに直面したら</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介</li> </ul>	

番号	1030203023	対象年齢層 (学年)	小学校3、4年生
----	------------	---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	勇気のお守り	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が大切な存在であり、お互いを思いやることがいじめの解決へつながることを認識する</li> <li>悩み事は一人で抱え込まず、誰かに相談することの大切さを理解する</li> </ul>		
教材の内容	<p>転校生の林太郎に対し、早速あだ名を付けるクラスメイト。そんな中、「人権について考えよう」をテーマにクラスで人権教室が行われ、こどもたちに「人権擁護委員」と「こどもの人権SOSミニレター」の存在を教える。</p> <p>ある日、いじめのきっかけとなる事件が起きる。ささいなことでこどもたちは敏感に反応し、様々な行動を起こす。しかし、SOSミニレターに勇気をもらい、自分の気持ちを素直に伝えられるようになった林太郎。クラスメイトと共に音楽発表会に望む。みんなが笑顔で終わるエンディング。(タイトルの「お守り」は、林太郎がお母さんからもらった「お守り」と人権擁護委員からの「SOSミニレターの返事」のことを指す。)</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「勇気のお守り」、ワークシート</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、 黒板(ホワイトボード)、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権擁護委員について</li> <li>人権について</li> <li>本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>始まりの挨拶</li> <li>人権擁護委員及び活動の紹介</li> <li>「人権」について簡単なお話</li> <li>本日のテーマ(いじめ)について、話の概要</li> </ol>	
展開	16分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「勇気のお守り」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	10分	内容の振り返り① (意見交換)	<p>登場人物の気持ちや行動に対しての自分の意見や考えを発表してもらう。</p> <p>〈話し合い例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめられている人(林太郎)の気持ちを考える</li> <li>いじている人(翔)の気持ちを考える</li> <li>まわりの人(優子、洋平、未唯)の気持ちを考える</li> </ul> <p>※板書作業を並行して行う。</p>	
	3分	内容の振り返り② (意見交換)	<p>先生、家族、人権擁護委員など、大人に相談することについての自分の意見や考えを発表してもらう。 (林太郎の行動の変化について)</p>	
	8分	内容の振り返り③ (記入・発表)	<p>いじめをなくすためにはどうしたらよいか、自分の考えをワークシートに記入してもらい、何名かの生徒に発表してもらう。</p>	
まとめ	4分	本日のまとめ	<p>◆「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介</p> <p>友だち、先生、お家の人に相談できない悩み事があったときは、人権擁護委員にも相談することを紹介する。</p>	

番号	1030103005	対象年齢層 (学年)	小学校3、4年生
カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	こども一般
タイトル	ひとつのことば	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 島型		
ねらい	よりよい人間関係を築くために、誰に対しても言葉を大切にし、心から思いやり、 支え合い、助け合って生活していこうとする気持ちを育てる。		
教材の 内容	<p>「ひとつのことば」北原白秋</p> <p>ひとつのことばで けんかして ひとつのことばで なかなかおり ひとつのことばで 頭が下がり ひとつのことばで 心が痛む ひとつのことばで 楽しく笑い ひとつのことばで 泣かされる</p> <p>ひとつのことばは それぞれに ひとつの心を もっている</p> <p>きれいなことばは きれいな心 やさしいことばは やさしい心</p> <p>ひとつのことばを 大切に ひとつのことばを 美しく</p>		
備考	使用教材：詩「ひとつのことば」(北原白秋)、ワークシート		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権擁護委員について</li> <li>人権について</li> <li>本日のテーマについて</li> </ul>	はじめに (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ (よりよい人間関係を築く) について	
展開	10分	詩の朗読	詩「ひとつのことば」を配布し、全員で朗読する。  詩に対する思考を深めるために、下記のような発問をする。  〈発問例〉 ・今までにこの詩のような体験をしたことはありますか? ・その時、どのような気持ちでしたか?	
	3分	内容の振り返り① (記入)	ワークシートを配布し、詩「ひとつのことば」を読んで考えたことや思ったこと、これから心がけたいと思ったことなど、感想を記入させる。 ※グループを巡回し、助言を与えながら発表者を選定する。	
	10分	内容の振り返り② (意見交換)	グループに分かれ、『みんなが明るい気持ちで生活するためには、どのようなことに気をつけたらよいか』をテーマに話し合う。	
	10分	内容の振り返り③ (発表)	各グループの代表者にグループで出た意見を発表してもらおう。  発表者の意見を大切にして、友達を想うところが育つ雰囲気を作る ※発表をしやすい雰囲気をつくり、他の生徒の意見を受け入れるところを育てる。	
まとめ	2分	本日のまとめ	◆本日の内容の総論 ・言葉の大切さ、言葉にはどんな力があるか	

番号	1030503094	対象年齢層 (学年)	小学校3、4年
----	------------	---------------	---------

カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	こども一般
タイトル	名前・・・それは燃えるいのち		難易度 中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人違った個性をもっていて、尊厳があるということを理解する。</li> <li>・違いを受け入れられるようにする。</li> <li>・言われた相手のことを考え、変なあだ名で呼ばないようにする。</li> </ul>		
教材の 内容	<p>4年3組の新しい担任になったのは、姜明子（カンミョンジャ）先生でした。元気いっぱいのクラスの中で、よりかと平吉は宿命のケンカ友だち。名前のことでケンカになったよりかと平吉に、姜先生は宿題を出します。「自分の名前のことを調べて、みんなの前で発表してください」翌日、みんなの前で発表する二人の顔は輝いていました。両親の深い愛情に気付いた、よりか。ブラジルに移住した祖父を誇りに思う、平吉。そして姜先生にも、自分の名前への深い思いがありました。民族名を隠し、「あきこ」と名乗っていた中学生の頃、姜先生が出会ったのは、ゴタイゴの「ビューティフル・ネーム」でした・・・</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「名前・・・それは燃えるいのち」、ワークシート          使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー          (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、          SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員について</li> <li>・人権について</li> <li>・本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 始まりの挨拶</li> <li>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</li> <li>(3) 「人権」について簡単なお話</li> <li>(4) 本日のテーマ（個性、互いの尊重）について</li> </ol>	
展開	18分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「名前・・・それは燃えるいのち」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	12分	内容の振り返り① (発表)	<p>登場人物の気持ちを考えさせ、理解を深めるために、下記のような発問をする。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バチ子や太っているということを意味するあだ名で呼ばれたとき、呼ばれた人の気持ちはどうだったでしょう。</li> <li>・姜明子先生がゴダイゴの歌を聴いて、自分の名前を日本語読みから元々の朝鮮の読み方に変えたのはどうしてですか。</li> </ul>	
	5分	内容の振り返り② (記入)	<p>ワークシートを配布し、各自の考えを記入してもらおう。</p> <p>〈ワークシート内容例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの名前の由来や名前に対する思いの説明を聞いてどう思いますか。</li> <li>・今日の授業で感じたこと</li> </ul>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論</li> <li>・名前にはそれができた由来があり、大切なものである</li> <li>・自分や他人の個性を理解し、互いに尊重し合う大切さ</li> <li>・人を傷つけるような発言やいじめをしない、許さない学級づくり</li> <li>◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介</li> </ul>	

番号	1030103036	対象年齢層 (学年)	小学校3、4年生
----	------------	---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	こども一般
タイトル	人権かるた	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	椅子なし型		
ねらい	かるた取りを楽しんだ後に、自分が選んだ読み札の文章の内容について考えさせることにより、思いやりの心や優しい心に気づかせ、人権を尊重することの大切さを学ばせる。		
教材の内容	<p>6名程度のグループに分かれ、人権に関する内容のかるたを使用し、かるた取りをする。 かるた取りが終わった後、自分が取った札の読み札とともに、文章に関する感想を発表してもらう。</p> <p>読み札：取り札の絵の内容を書いた短い文章が書かれている。 取り札：読み札の内容を描いた絵と、読み札の文言の頭文字がひらがなで大きく書かれている。</p> <p>※人権かるたの内容について考えることを目的なので、通常のかるた遊びとはルールが違います。</p>		
備考	使用教材：人権かるた（読み札、取り札）、読み札一覧表		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権擁護委員について</li> <li>人権について</li> <li>本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>始まりの挨拶</li> <li>人権擁護委員及び活動の紹介</li> <li>「人権」について簡単なお話</li> <li>本日のテーマについて</li> </ol>	
展開	5分	人権かるた ルール説明	人権かるた(かるた取り)のルールを説明した後、6人程度のグループに分かれ、円になって座り、取り札を中央に並べさせる(並べ方は自由)。	
	15分	人権かるた	<p>グループ内でかるた取りで遊んでもらう。</p> <p>〈人権かるたルール〉 講師が読み札を読む。講師は「あ」～「ん」で始まる文章が書いてある読み札を持っているが、実際に読み上げるのは半分のみ。勝負ではなく、読み札の文章の内容(人権に関する)を理解してもらうことが目的なので、講師が文章を全て読み終わってから取り始めてもらう。 また、全員が必ず1枚は取れるように、グループ内の全員が1枚取るまで、既に取った児童には待ってもらい、全員が取り終わった後に自由に取り始めてもらう。</p>	
	15分	内容の振り返り	読み札の文章の一覧表を全員に配り、自分が取った札の読み札(複数取った児童はどれか一つ)とともに、文章に関する感想を発表してもらう。	
まとめ	5分	本日のまとめ	<p>◆ 本日の内容の総論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手を思いやる気持ちや優しい気持ちが「人権の尊重」である</li> <li>「人権」は人間が人間らしく生きる権利で、お互いのことを大切にする気持ち、優しさや思いやりの心によって守られていく</li> <li>日常の小さな行動が大切</li> </ul>	

番号	1080204020	対象年齢層 (学年)	小学校5、6年生
カテゴリ1 (大分類)	外国人	カテゴリ2 (小分類)	偏見、差別的取扱い
タイトル	外国人と人権～違いを認め、共に生きる～	難易度	中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型、島型		
ねらい	外国人に対する偏見や差別をなくし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのか学ぶ。		
教材の内容	住宅街のごみ集積所で、地域の住民が、2か月前に越してきた外国人の家族についてうわさをしている。 ごみ出しのルールや、夜の大声などの問題で迷惑になっているというのがその内容だ。住民は大家に苦情を言いに行く。 しかし、実際に会って話をすることで、誤解が解け、少しずつ外国人一家と地域住民は打ち解けていく。		
備考	使用教材：DVD「外国人と人権～違いを認め、共に生きる～」 (家庭、地域で見られる偏見や差別)、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、 黒板(ホワイトボード)、SOSミニレター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権擁護委員について</li> <li>人権について</li> <li>本日のテーマについて</li> </ul>	はじめに (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ(外国人差別、偏見)について	
展開	8分	人権啓発DVD鑑賞	DVD「外国人と人権～違いを認め、共に生きる～」(家庭、地域で見られる偏見や差別)を上映する。  ※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。	
	7分	内容の振り返り① (記入)	外国と日本の文化の違いや登場人物の心情を考えるために、ワークシートを配布し、記入してもらう。	
	15分	内容の振り返り② (意見交換)	グループに分かれ、ワークシートの問いに関して、自分が考えた意見を話し合う。 その後、グループの代表者に発表してもらう。	
まとめ	8分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「外国人だから」と決めつけない</li> <li>・お互いを理解し、尊重する</li> <li>・お互いの違いを認めて大切にする</li> </ul> </li> <li>◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介</li> </ul>	

番号	1050104113	対象年齢層 (学年)	小学校5、6年生
----	------------	---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	障害のある人	カテゴリ2 (小分類)	障害のある人一般
タイトル	障害って何だろう？	難易度	中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	私たちが普段よく耳にする「障害」という言葉について改めて考え、障害のある人を含めた全ての人々にとって住みよい社会とは何であるかについての気付きと理解を深める。		
教材の 内容	<p>車椅子バスケットで活躍しているパラリンピアン根木慎志さんが、中学校の体育館で講演を行う。</p> <p>根木さんは、ユーモアのある語り口で参加者である中学生との距離を縮めるとともに、難しいスリーポイントシュートを披露した後、生徒たちと一緒に車椅子バスケットの試合を行う。</p> <p>生徒達は車椅子を操作しながらボールを扱う難しさを実感するとともに、車椅子を巧みに操作してシュートを決める根木さんをすごいと感じる。</p> <p>試合後、根木さんは生徒たちに、「車椅子バスケットが一番上手だった自分に障害があると思うか。」と問いかけ、生徒たちは「ない」と答える。</p> <p>次に、根木さんは生徒たちに、「ここを出て教室に行くためにみんなは階段を上り下りするけれども、僕にはできません。僕が教室に行くために困ってしまう障害とは何だと思うか。」と問いかけ、生徒たちは「階段」と答える。</p> <p>根木さんは、「「障害」とは自分たち障害者にあるのではなくて、階段のように社会が作り出しているものであり、社会の努力でなくすことができる。」と説明する。生徒たちは、皆で手伝えれば根木さんも教室にも行けること、障害がなくなること理解する。</p> <p>私たちの身の回りにある障害として、出入り口の段差、点字ブロックをふさぐように置かれた自転車、障害者用の駐車スペースに駐車する健常者、盲導犬の同伴を受け入れてくれないお店を例にあげ、障害者にとっての障害とは何かを問いかける。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「障害って何だろう?」、バリアフリー及びユニバーサルデザインを記載した掲示用用紙及び配付資料</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、 黒板(ホワイトボード)、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権擁護委員について</li> <li>人権について</li> <li>本日のテーマについて</li> </ul>	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>始まりの挨拶</li> <li>人権擁護委員及び活動の紹介</li> <li>「人権」について簡単なお話</li> <li>本日のテーマ(障害)について</li> <li>身近にあるバリアフリー、ユニバーサルデザインについて</li> </ol>	
展開	5分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「障害って何だろう?」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	25分	内容の振り返り	<p>障害のある人にとっての「障害(バリア)」とは何かについて理解し、これらを解消するにはどうすればよいかを考えることで、人権感覚を育むために、下記のような発問をする。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>根木さんの話を聞いて、「障害」とは何だと思うか?</li> <li>「施設の出入り口に段差があって車椅子の方は施設に入れない。」「点字ブロックの上に自転車停まってるって視覚障害者が通れない。」「障害者用の駐車場に健常者が車を停める。」「盲導犬を連れた視覚障害者がお店に入るのを断られる。」といった障害のある人にとっての4つの障害(バリア)を解消するためには、どうしたらよいか?</li> <li>障害のある人は普段の生活の中でどのようなことに困っているのでしょうか?</li> </ul>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論 バリアフリー、ユニバーサルデザインに関する資料を配付し、内容をまとめる。</li> <li>・困っている人がいたら手をかしてあげる気持ちは、思いやりの気持ちである</li> <li>・「人権」はお互いのことを大切にする気持ち、思いやりの心によって守られていく</li> <li>・困っている人がいたら手を貸してあげようという相手を思いやる気持ちが「人権の尊重」であることを伝える</li> <li>◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介</li> </ul>	

番号	1150105080	対象年齢層 (学年)	小学校5、6年生
----	------------	---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	性的指向・性自認	カテゴリ2 (小分類)	性的指向・性自認一般
タイトル	はじめて学ぶLGBTs② 好きになってはいけないの？		難易度 初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型、島型		
ねらい	多様な恋愛観を肯定的に捉え、性的指向についての認識を持つことで、性的少数者に対する偏見や差別的な考えを見直す。		
教材の内容	主人公のさなは幼馴染で親友のはるかに対して親友以上の特別な感情を抱くようになります。 さなははるかに対する特別な感情に戸惑い、好きになってしまったのではないかと悩みます。 さなは東京へ転居することになりはるかとお別れすることになりますが、はるかに対して最後まで自分の気持ちを打ち明けられませんでした。 時が経ちさなは大人になり、はるかとお過ごした時間はこどもの頃の思い出になりましたが、今は同性のパートナーがいます。		
備考	使用教材：DVD「はじめて学ぶLGBTs②好きになってはいけないの？」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、SOSミニレター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権擁護委員について</li> <li>人権について</li> <li>本日のテーマについて</li> </ul>	はじめに (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ (性的指向・性自認、LGBTs) について	
展開	20分	人権啓発DVD鑑賞	DVD「はじめて学ぶLGBTs②好きになってはいけないの？」を上映する。  ※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。	
	5分	内容の振り返り① (記入)	性的少数者に対する偏見や差別的な考えを見直すために、ワークシートを配布し、各自の考えを記入してもらう。  〈ワークシートの内容例〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>主人公のさなが、親友のはるかに対して親友以上の特別な感情を持ったことに悩んだのは何故か。</li> <li>LGBTに対してどのように思うか。同性愛はいけないことなのか。</li> <li>LGBTを侮辱したり差別したりする発言や行動を見たこと、もしくは行ったことはないか。</li> <li>LGBTの人とどう関わるか。</li> </ul>	
	15分	内容の振り返り② (意見交換)	周りとの意見交換することで思考を深めるため、グループに分かれ、話し合いと発表をもらう。  ※オネエ、ホモ、おかま、おなべなどの不規則発言が出た場合は放置せずに、人を傷つけるような言い方をしてはいけないことを講師は注意する。 また、当事者生徒の存在に留意する。	
まとめ	3分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 本日の内容の総論 性的指向の多様性を知り、誰もが自分の性について誇りを持ちありのままの自分として生きる権利があることを伝える。</li> <li>◆ 「こどもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介</li> </ul>	

番号	1120104037	対象年齢層 (学年)	小学校5、6年生
----	------------	---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	インターネットによる人権侵害	カテゴリ2 (小分類)	インターネットによる人権侵害一般
タイトル	スマホ・ケータイ安全教室と連携した人権教室		難易度 中級
時間	45分	対象人数 の目安	2学級80人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型、椅子なし型		
ねらい	株式会社 NTT ドコモ実施のスマホ・ケータイ安全教室と連携し、スマートフォン・携帯電話を使用する場面で起こり得る身近なトラブルについての気づき、安全に使うためにはルールとマナーを守ることが必要であることをアニメーションまたはスライドを使用して説明する。また、インターネットや SNS 上で人権侵害をしないように呼びかけ、人権侵害をされた際の解決方法について紹介する。		
教材の内容	①株式会社 NTT ドコモ実施 スライドやアニメーションによるスマホ・ケータイ安全教室 (35分) ②法務局実施 SNS でのいじめ等に関する講話 (10分)		
備考	使用教材：スライドデータ 使用物品：投影用機材、スクリーン (大型テレビ)、PC 用スピーカー、マイク、アンプ、SOS ミニレター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面 / 行動 / 問い)	留意点
導入	5分	スマホ・ケータイ安全教室の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶 (自己紹介、本日の進め方について)</li> <li>スマホ、携帯の主な使用場面について</li> </ul>	
展開	5分	〈SNS について〉 情報を公開するときに気を付けること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ SNS (X、Instagram、Facebook 等) について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報を載せることの危険性</li> <li>・自分の写真や友だちの写真を載せることや、書く内容による危険</li> <li>・イタズラ動画</li> </ul> </li> <li>〈まとめ〉情報を公開するときに気を付けること</li> </ul>	
	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アニメーションによって事例を紹介</li> <li>・内容のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆インターネットや SNS で知り合った人とのやりとりについて、気を付けること ～アニメーション：相手はどんな人？ 視聴 (1分37秒) ～</li> <li>・インターネットで知り合った人に会う危険性</li> <li>・身近にある危険性について具体例を示し、自分だったらどうするか考えてもらう</li> <li>〈まとめ〉ネットで知り合った人とのやりとりで気を付けること</li> </ul>	
	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再現ドラマの上映</li> <li>・内容のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆コミュニケーションアプリ (LINE 等) について</li> <li>・文字だけのやりとりの具体的な事例を示し、自分だったらを考えさせる</li> <li>～再現ドラマ：生まれた誤解 視聴 (4分4秒) ～</li> <li>〈まとめ〉文字だけのやりとりで気を付けること</li> </ul>	
	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アニメーションを視聴</li> <li>・内容のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆使いすぎに気を付けよう</li> <li>～アニメーション：夢中になって大丈夫？ 視聴 (1分37秒) ～</li> <li>・正しい使い方について</li> <li>〈まとめ〉使いすぎに気を付けるために</li> </ul>	
	5分	スマホ・ケータイ安全教室のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆インターネット上の様々な危険から身を守る為の方法の紹介</li> <li>◆ルールやマナーを守って使う大切さについて</li> <li>・オンラインゲームなどのアイテム購入のトラブル</li> <li>・歩きスマホ、ながらケータイに関する事故やトラブル</li> <li>◆スマホやケータイを使うときに覚えておいてほしいこと</li> </ul>	
	まとめ	10分	法務局による講話	<ul style="list-style-type: none"> <li>【法務局】</li> <li>◆スマートフォンや携帯電話を使っていて困ったことがあったときの解決方法</li> <li>◆法務局の相談窓口 (電話相談、インターネット相談) の紹介</li> </ul>



# 人権教室申込みの流れ



## 人権教室実施申込書

年 月 日

STEP 1

### 実施を希望する人権教室の選択

本パンフレットまたは東京法務局ホームページの中から、実施希望の人権教室を選択してください。  
※「いじめ」、「LGBT」、「インターネット」など具体的なテーマをリクエストしてお申し込みいただいても構いません。その際はこちらから教材を提案させていただきます。



STEP 2

### 申込書の提出

FAX または郵送で申込書を提出してください。  
※申込書は本パンフレット内または東京法務局ホームページ掲載のものをご利用いただき、実施希望日のおおよそ2か月前までにお申し込みいただきますようお願いいたします。



STEP 3

### 申込内容確認の連絡

申込書を受領後、申込み内容の確認のため、東京法務局担当者からお電話をさせていただきます。  
※申込日から一週間を経過しても連絡がない場合は、恐れ入りますが、お電話にてお問合せください。



STEP 4

### 事前打合せ等

講師（人権擁護委員または東京法務局職員）が学校に伺い、当日の内容等について事前に打合せを行います。



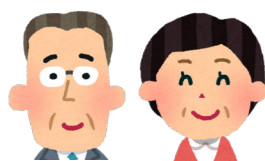
STEP 5

### 当日

※講師派遣に係る旅費・謝金等の費用は必要ありません。

### 人権擁護委員とは

人権擁護委員は、法務大臣が委嘱した民間の人たちです。現在、約14,000名の委員が全国の各市町村（東京都においては特別区を含む。）に配置され、人権相談や人権に関する理解を深めてもらうための活動等を行っています。



学 校 名 等	(フリガナ)		所在地 市	
	学校長名	(フリガナ)	担当者名	(フリガナ)
連 絡 先	TEL		FAX	
	メール		連絡可能な時間帯	
希 望 内 容	主なテーマ ( )			
受 講 人 数	<input type="checkbox"/> 小学生 ( 年生 )	名	<input type="checkbox"/> 保護者	名
	<input type="checkbox"/> 中学生 ( 年生 )	名	<input type="checkbox"/> 教 員	名
	<input type="checkbox"/> 高校生 ( 年生 )	名	<input type="checkbox"/> その他 ( )	名
	<input type="checkbox"/> 大学生 ( 年生 )	名		
実 施 希 望 日 時	第1希望日時	月 日 ( 曜日 )	時 分 ~	時 分
	第2希望日時	月 日 ( 曜日 )	時 分 ~	時 分
	第3希望日時	月 日 ( 曜日 )	時 分 ~	時 分
	注) 日・祝・年末年始(12月29日~1月3日)は教室を開催していません。			
開 催 会 場	<input type="checkbox"/> 教室 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ※申込みの学校の所在地と異なる場合は、その他の欄に御記入ください。			
使 用 機 器	※ご用意いただけるものにチェックしてください。 <input type="checkbox"/> パソコン (DVDドライブ利用可能) <input type="checkbox"/> 投影用機材プロジェクター <input type="checkbox"/> スクリーン <input type="checkbox"/> PC用スピーカー <input type="checkbox"/> マイク・アンプ <input type="checkbox"/> 電源ドラム・延長コード <input type="checkbox"/> 講師用机・椅子			
御 要 望 事 項				

※講師派遣に係る旅費・謝金等の費用は必要ありません。

※本申込書は、実施希望日の2か月前までに持参、郵送、電子メール又はFAXで提出してください。  
ただし、日程等の事情により、ご希望に沿えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

#### 【お申込み・お問合せ先】

〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目6番1号 四谷タワー13階  
東京法務局人権擁護部第三課

TEL:03-5363-3065 FAX:03-5363-3076 E-mail:jinken01\_tokyo\_moj\_bal@moj.go.jp

申込書を受領後、申込み内容の確認のため、東京法務局担当者からお電話させていただきます。

なお、申込日から1週間を経過しても連絡がない場合は、恐れ入りますがお電話にてお問い合わせください。



人権イメージキャラクター  
人KEN まもる君

# 人権相談はこちらへ



人権イメージキャラクター  
人KEN あゆみちゃん

人権についての全般的な相談はこちら

**みんなの人権 110 番**

この電話はおかけになった場所の最寄りの法務局・地方法務局につながります。

(全国共通)

ゼロゼロみんなのひゃくとおぼん

**0570-003-110**

子どもに関する相談はこちら

**子どもの人権 110 番**

学校でのいじめ、虐待などの相談に応じます。

(全国共通・通話料無料)

ゼロゼロなのひゃくとおぼん

**0120-007-110**

**LINE 人権相談**



友だち追加は  
こちらから！

**インターネット人権相談**

インターネット人権相談

検索

クリック

<https://www.jinken.go.jp/>

**外国語による人権相談**

**0570-090911**

英語・中国語・韓国語・フィリピン語・ポルトガル語  
ベトナム語・ネパール語・スペイン語・インドネシア語・タイ語